

お薬のしおり

No.179 (H29.1)

東京医科大学病院 薬剤部

アトピー性皮膚炎と治療薬について

現在、20歳以下のおよそ10人に1人がアトピー性皮膚炎であると推測されています。アトピー性皮膚炎とは、湿疹とかゆみが主な症状で、良くなったり悪くなったりを繰り返し、なかなか治らないことが特徴です。

このアトピー性皮膚炎は、アトピー素因を持つ方（ご家族にアトピー性皮膚炎や喘息、花粉症、アレルギー性鼻炎、食物アレルギーなどの人がいる場合など）や、皮膚のバリア機能が弱い方に多く見られると言われています。皮膚は、外からの物質の侵入や水分の蒸発による乾燥を防ぐバリアの役割を担っていますが、アトピー性皮膚炎ではこのバリア機能が弱まっている状態です。このため、皮膚を引っかいたりこすったりといった物理的な刺激や、汗、石鹸、化粧品、紫外線などによっても低下します。

アトピー性皮膚炎の治療は、皮膚の症状で軽微、軽症、中等症、重症の4段階に分けられ、それぞれの段階で治療法が変わります。皮膚の症状に合わせて、ステロイドや免疫抑制薬の外用剤、かゆみのある際にはかゆみ止めとして抗ヒスタミン薬や抗アレルギー薬の内服薬、症状が重い場合にはステロイドや免疫抑制薬の内服薬などを用います。また、スキンケアは、治療の基本で、刺激がなければすべての時期で行い、保湿と日常生活での工夫（入浴やシャワーによって皮膚の清潔を保つなど）が挙げられます。下記ではステロイドの外用剤を中心に概要を説明します。

●ステロイドの外用剤：人間の体の中では、「副腎皮質ステロイドホルモン」というホルモンが分泌され、血液の中に入って体内を循環しながら様々な働きをしています。その1つに、免疫やアレルギーに関係する細胞の働きを抑えたり、炎症を起こす物質が作り出されないようにしたりして、炎症や免疫の働きを抑える働きがあります。その炎症を抑える強さから5段階（強い順に strongest (ストロングエスト)、Very strong (ベリーストロング)、Strong (ストロング)、Medium (ミディアム)、Weak (ウィーク)) に分類されます。症状が重いほど強いステロイド外用薬を使います。



また、体の部位によってもお薬の吸収率が異なり、頬などの顔は吸収されやすく、皮膚の厚い手のひらや足の裏などでは特に吸収されにくいとされています。

軟膏はたくさん塗ることでお薬の効果が強いというイメージもあるかもしれませんが、塗り薬には適量があります。ステロイド外用薬や保湿剤の塗る量は目安としてフィンガーチップユニット (FTU) が用いられます。軟膏の場合、FTUは大人の人差し指の一番先から第1関節に乗る量で、約0.5gに相当します(チューブの穴の直径が5mm程度の場合)。これを1FTUと呼び、大人の手の手ひら2枚分くらいの面積に塗ることができます。

●ステロイド外用剤の副作用：内服薬と異なり、外用剤は塗った場所だけに作用するため、副作用は最小限と考えられます。但し、長期の使用により皮膚萎縮(皮膚が薄く弱くなること)や毛細血管拡張(血管が網の目状に見えること)などが現れる可能性がありますので、皮膚に何か気になる症状が現れたら、早めに医師に相談してください。

【参考：当院採用のステロイド外用薬のランクの目安】(2017年1月現在)

| 薬効 | 一般名 | 当院採用薬名 |
|--------------------|-------------------------------------|--|
| I群 Strongest | クロベタゾールプロピオン酸エステル | デルモベート軟膏・ スカルプローション |
| II群 Very strong | モメタゾンフランカルボン酸エステル | フルメタローション フルメタ軟膏・クリーム(院外) |
| | ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル | アンテベート軟膏・ クリーム・ローション |
| | フルオシノニド | トブシム軟膏(院外) |
| | ジフルプレドナート | マイザー軟膏 |
| | ジフルコルトロン吉草酸エステル 酪酸プロピオン酸ヒドロコルチゾン | ネリゾナ軟膏(院外) パンドル軟膏(院外) |
| III群 Strong | ベタメタゾン吉草酸エステル | リンデロンVローション リンデロンVG軟膏・クリーム (抗生物質：ゲンタマイシンを含有) リンデロンVGローション(院外) |
| | デキサメタゾンプロピオン酸エステル | メサデルムクリーム メサデルムローション (院外) |
| | デプロドンプロピオン酸エステル | エクラープラスター(院外) |
| IV群 Medium | プレドニゾン吉草酸エステル酪酸エステル | リドメックスコーワ軟膏・ ローション |
| | クロベタゾン酪酸エステル | キンダベート軟膏(院外) |
| | ヒドロコルチゾン酪酸エステル | ロコイド軟膏・クリーム |
| | デキサメタゾン | グリメサゾン軟膏 |
| V群 Weak | プレドニゾン | 当院採用薬はなし |

お薬のことでご不明な点やご不安な点がある場合には、医師又は薬剤師までご相談ください。